「キレイキレイのまち 坂出」開始から1年で成果

ライオン

ライオンは2月13日、香川県坂出市役所において同社が坂出市と進めている「キレイキレイのまち 坂出」プロジェクトについて、1年間の経過報告会を行った。同プロジェクトは、2014年1月29日～2017年12月31日まで、「手洗い」を通じて坂出市民の衛生習慣の浸透と定着を図り市民の健康増進によって、学級閉鎖ゼロを目指すもので、ライオンやライオンケミカルと坂出市が共同で啓発活動を実施している。今回は、プロジェクトの開始から約1年が経過したため、2014年の振り返りと2015年の活動目標について意見交換を行った。

冒頭に挨拶した綾宏市長は「キレイキレイプロジェクトが少しずつ浸透してきていると実感している。（ライオンが考案した）『アラウータン体操』は子どもたちにも人気で、イベントの時に皆踊っている。衛生意識が高まることで、様々な病気の予防にもつながっており、とてもいい切り口になっている。残り3年間で是非成果を上げたい」と1年間、市民とふれあって肌で感じた感想を述べた。

これに対し、ライオンの小竹由紀CSR推進部長は「手洗いの啓発活動のほかにも歯ミガキの啓発に注力している。小学校を対象にした毎年恒例の『学童歯ミガキ大会』の応募がつい最近締め切られたが、坂出市からは7校の応募が寄せられた。香川県全体は13校なので半分以上の小学校が応募したことになる。絆が深まっているようで非常に嬉しい」と市の意識の高さを称えた。

プロジェクトの全体像については、第一ステップとして「認知」があり、広報誌や懸垂幕、ポスターなどのメディア露出、さらには市のイベントなどによって関心を喚起していく。第二ステップでは、「実行」のため「キレイキレイ 泡ハンドソープ」を設置し、毎日洗う習慣づくりや、手洗いについて正しく学び理解してもらうためのマイスターによる指導、体操によって楽しく覚える活動を進めていく。第三ステップでは「定着」のため、習慣化を促進していく。そして衛生習慣が定着、健康な生活が実現することで第四ステップの「健康」が達成される。

市の取り組みを説明する綾市長

2014年はプロジェクトのスタート年であるため、PR活動と手洗い啓発活動を実施した。PR活動では、坂出市役所にプロジェクトの懸垂幕を常時設置したり、「さかいで楽市楽座」（2月）、「リフレッシュ瀬戸内」（7月）、「まなトピア」（11月）といった市民が多く集まるイベントにおいて「アラウータン体操」を実施し、計927名が参加した。

啓発活動では、市内の幼稚園や保育園、小中学校、公共施設に啓発ポスターを合計180枚を掲示し、手洗い場にはPOPを約900個設置して常に目に触れるようにした。「泡ハンドソープ」は、105カ所に1500個を設置し、補充ができるシステムを構築したり、設置状況を確認できるようにした。幼稚園や保育園の園児を対象に「みんなでアラウータン」体操を覚えてもらうイベントを8園で開催し、園児603名が参加した。さらに、幼稚園や保育園、小中学校の先生を対象に暮らしのマイスターによる「手洗い教室」を開催し、30名が参加した。マイスターによる講義のほか、ブラックライトを用いた手洗いチェック、ライオンケミカル坂出工場の見学などを実施した。

プロジェクトの成果を報告する小竹氏

今後はプロジェクトの内容認知が課題に

2014年の活動評価については、市民関係者の意識行動に関するアンケート調査を実施し、その結果から進捗状況を確認した。同アンケートは、2014年11月14～21日、坂出市民と関係者を対象に用紙を配布して実施された。市内の小中学生（小学4、5年生、中学2年生）、保護者（幼稚園、保育園の5歳児、小学4、5年生、中学2年生）、教職員（幼稚園、保育園、小学校、中学校）、坂出市職員に4024枚を配布し、3675枚（回収率91・3％）を回収した。

評価のポイントは「手洗いに関心が向いているか」「正しい手洗いは浸透し始めているか」「活動後に行動変化が見られるか」の3点に分け分析した。

まず関心度を測る「キレイキレイのまち 坂出プロジェクト活動が知られているか」については、「よく知っていた」「知っていた」「名前だけ聞いたことがある」を合計すると、44・3％に認知があった。ただ、プロジェクトの内容を理解していることを示す「よく知っていた」「知っていた」の合計は26％と、浸透が途上にあることがわかった。また、活動を認知している割合は、市職員では78％、教職員では62・4％、保護者においては33・1％だった。「プロジェクトを知った方法」については、市の広報誌「さかいで」が約35％と最も高く、次に「園や学校の手洗いポスター」が約26％、「市役所の懸垂幕」が約22％と続いた。

「正しい手洗いの浸透」については、「正しいタイミングで手洗いしているか」の設問で、トイレの後は約85％が洗っているのに対し、外から帰った時や食事の前は約56％と低くなった。手を洗う際、90％以上はハンドソープや固形石鹸を用いているが、水洗いのみがわずかに6％存在していることが明らかになった。そして正しく30秒以上洗っている人は約15％で、10秒未満が約60％にのぼった。「手洗い後に清潔なタオルやハンカチを使っているか」については、毎日タオルやハンカチを替えている人は75％、毎日同じものをつかっている人は17％と、比較的毎日替えていることがわかった。「どのような手洗い指導が行われているか」については、幼稚園、保育園、小中学校の約90％で「手洗いの大切さ」「正しい手の洗い方」を意識した指導が行われているが、家庭内では「手洗いの大切さ」の指導が約60％、「正しい手の洗い方」の指導は約20％にとどまった。

「活動後に行動変化が見られるか」に関して、手洗い啓発活動の『みんなでアラウータン』参加により子どもたちの手洗い回数に変化が見られるか」では、幼稚園、保育園では約67％、家庭内では約34％が「増えた」（とても増えた、増えた）と回答し、また、同啓発活動で子どもたちの「手の洗い方に変化が見られるか」については、「上手・丁寧になった」と認められたのは、幼稚園・保育園では約72％、家庭内では41％となった。これらの回答から、「アラウータン」の啓発活動が手洗い習慣の浸透につながっていることがわかった。

アンケートの結果を踏まえ、ライオンの矢島敏夫CSR推進部主任は、「プロジェクトが認知され、手洗いについて関心が持たれつつある。その一方で正しい手洗いの理解と浸透には至っておらず、啓発の継続が必要だ。園児向けの啓発活動は手洗い習慣の浸透につながる有効な手段であることがわかった」と評価した。

2015年は正しい手洗い法の普及めざす

「学級閉鎖ゼロ」の目標に対する現在の状況は、市内の公立の幼稚園、小中学校において学級閉鎖したのは2014年11月に1校、2015年1月に4校のみにとどまり、「例年と比較しても少ない」（綾市長）という。

これらの結果から、2015年は手洗いの大切さへの一層の関心喚起を継続するとともに、正しい手洗い方法の普及を強化していく方針だ。

今後は指導関係者向けの情報提供と、学校教育現場での啓発活動、市民への呼びかけを重点的に行うとしている。

加藤悟史副市長は閉会の挨拶で「プロジェクトを有効に活用できていると感じている。今後も1つのモデル事業として、このプロジェクトが成功するよう、プロジェクトチームと密に連携をとっていきたい」と抱負を述べた。

これを受けライオンの永井隆志BC事業部長は「坂出市のような生活衛生習慣のモデルシティを基点として、香川全体あるいは四国全体、そして全国に新しい手洗い習慣を根付かせたい。今後も坂出市の皆さんと当社が三位一体となりプロジェクトを進めたい」と互いに意志を確認しあった。

ライオンの小竹氏によると、坂出市内では「キレイキレイ 泡ハンドソープ」の売行きに関して「確かな手応えを感じている」といい、ライオンケミカルの坂出工場で同製品が約90％生産されていることをアピールしながら、販売にもつなげたい構えだ。

化粧品業界の転職
―希望を叶える転職をするために―
vol.30　5分で読める、化粧品業界の転職術 ―薬事担当①

薬事担当の仕事内容・求人トレンド

化粧品業界の薬事担当は、化粧品を販売するために必要な、薬事法関連の業務を執り行う役目を担っています。理系職種で、「総括製造販売責任者（化学系の学校、もしくは職場出身者に与えられる資格）」の資格保持者でなければいけません。男女比は半々で、資格職・内勤職という特性上、正社員でなくパート雇用で働く女性も見られます。一社につき、1～数名が働いています。

今回は薬事担当の仕事内容と求人のトレンドをご紹介します。

■薬事担当の仕事内容

薬事担当の具体的な仕事内容は、大きく次の2つに分けられます。

・薬事申請

厚生労働省に対し、自社の新製品の特徴を説明する資料を作成し、申請業務の責任者として販売許可取得のための申請業務を行います。厚生労働省から寄せられる質問や指摘への回答も、薬事担当の仕事です。相手を納得させるための論理的な思考と、柔軟な交渉力が求められます。新人のうちは、申請業務以外のアシスタント業務を中心に行うケースも多いです。

・広告表記のチェック

成分表示や広告のキャッチコピーなど、商品に関する文言の合法性をチェックする業務です。文言の正確さや、薬事法に抵触する表現になっていないかを詳細に確認します。商品本体はもちろん、パッケージ・ホームページやカタログ・店頭に置くPOPなど……商品に関する文言すべてが確認対象です。

このほか、商品企画やマーケティング部門から、新商品の打ち出し方について相談を受けることもあります。

■求人市場は活況

薬事担当は企業に必須のポジションのため、退職者が出た場合は必ず欠員補充の募集がかかります。そのため、薬事担当の求人はコンスタントに出続けています。応募時の倍率もそれほど高くないため、他職種と比べて比較的内定が出やすい職種といえます。

また、近年は、事故や偽装問題の発覚が相次いだことから、薬事担当を増員してリスクの軽減をはかる企業が増えています。この10年で最も求人が出やすい時期と言え、転職を検討している場合は今が絶好のタイミングでしょう。

なお、少人数採用のため、コストの関係上、広告を出して募集をかける企業はほぼ無く、求人は人材紹介会社に集まります。

次回は、薬事担当として応募・面接時にアピールすべきスキル、企業選びのポイントや、薬事担当によく見られる転職理由について紹介します。

小幡瑞季プロフィール

株式会社クイック　キャリアコンサルタント。化粧品業界で働く方の転職をご支援して今年で10年目。幅広い化粧品企業への転職支援実績を持つ。
転職者の希望を踏まえた求人のご紹介のほか、化粧品企業についての情報提供や、選考通過のポイント指南、就業条件の交渉等により転職をサポートする。
株式会社クイックは設立34年、東証一部上場の人材紹介会社。化粧品業界の転職情報サイト『彩職』（http://cosme.ten-navi.com/）を運営。
問い合わせ先：cosme@919.jp